

平成 31 年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：37508
学校名：札幌市立前田北中学校

| プログラム改訂のポイント | | ◎保健体育科の授業で継続的に体幹トレーニング、縄跳び運動に取り組むことで筋力・瞬発力・持久力の向上を図る ◎保健体育科の授業を工夫することにより、運動量を十分に確保し、持久力の向上を図る。 | | |
|---------------------|----------------------|---|---|--|
| 項目名 | 項目内容 | 項目内容の具体 | | |
| 目標 | 「健やかな体」の育成に係る目指す子ども像 | ☆運動やスポーツの多様な楽しさを知り、自分や仲間とともに実践することができる生徒 ☆健康についての自他の課題を発見し、より良い解決方法を考えることができる生徒 ☆自らの食生活を見直し、健康で望ましい食習慣について考えることができる生徒 | | |
| 「健やかな体」の育成に関する成果や課題 | A 体育に関する指導の充実 | 【具体的な取組】 ○「北中体育の日」「こもれびの日」の取組 ○体育時の1分間なわとびの実施（最重点） ○「歩くスキー学習」の実施 | 【成果】 ⇒目標達成に向けて、真剣に取り組む態度が身についた。仲間と協力し、運動に親しむことができた。 ⇒継続することで、瞬発力の向上がみられた。 ⇒雪に親しみ、冬の体力向上が図られた。 ※全国体力・運動能力テストの結果では、ほとんどの項目で全国平均を上回っている。 | 【課題】 □上体おこし、20m ショトルランのT得点の向上 □生徒の意欲につながるなわとびの実施方法の工夫 □体育授業での十分な運動量の確保 |
| | B 健康に関する指導の充実 | 【具体的な取組】 ○発達段階に応じた「命を大切にする健康教育」（思春期ヘルスケア、赤ちゃん交流授業など） ○諸通信などを通して、基本的生活習慣の大切さを生徒、保護者に啓発する。 ○各教科等の内容と関連付けた学校給食やランチルーム給食などを通して、食に対する興味・関心を高める。 | 【成果】 ⇒外部の専門家による楽しくわかりやすい指導と体験学習を通して自他の命の大切さを考えることができた。 ⇒折をとらえた啓発を行い、基本的生活習慣の定着に資することができた。 ⇒食育指導や家庭科の授業を通して、食事の重要性を理解し、食べ物と食に関わる様々な人への感謝の心をもつことができた。 | 【課題】 □計画的で継続的な外部人材の活用 □基本的生活習慣を身につけさせる指導（ゲームの時間） |
| 今年度の具体的な改善策（取組） | 取組の最重点 | A本校の特色ある体育的行事（北中体育の日・こもれびの日）や保健体育の授業を通して、運動やスポーツの楽しさを体感させる。 | | |
| | A 体育に関する指導の充実 | ○「北中体育の日」や「こもれびの日」など本校独自の取組を大切にし、改善を加え、より良いものをつくり上げる。 ○体育の「なわとび」の実施方法を更に工夫し、ふれあい集会（大縄跳びなど）による他学年交流を継続的に行う。 ○体育の授業での試合方法やルールなどを工夫することで十分な運動量を確保する。 ○札幌らしい特色ある教育活動【雪】にかかわり、「歩くスキー学習」を継続していく。 | | |
| | B 健康に関する指導の充実 | ○本校生徒の基本的生活習慣の実態を把握し、諸通信や教育相談等を通して、改善に向けた啓発を行う。 ○各教科や特別活動において横断的な食育指導を行い、食生活をより良いものとし、自らの健康を保持増進する意欲を高める。 | | |
| 証の検 | 各種調査等の活用 | ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 | | |